



男の子の写真、そして、次の内容

八代斌助主教もまた、垂水の山で学校を建てることを決意されて、神の祝福を求めたとき、靴を脱がれて、祭壇の前にお立ちになられたと聞いております。

震災と想定外の事故により、やっと人間が互いに生きる「絆」を与えられました。

私達は、いま与えられた学生達にこの「大きな力」に無関心であつたりすることのないよう努力しています。

神戸国際大学理事長

詩編8編
2主よ、わたしたちの主よ
あなたの御名は、いかに力強く全地に満ちていることでしょうか。

6神に僅かに劣るものとして人を造り／なお、栄光と威光を冠としていただけかせをすべて治めるように／その足もとに置かれました。

私は、この二枚のポスターをみて、なんとなく不気味さを感じました。こんな学生たちが、将来、日本の幹部指導者として采配を振るえはどうなるのだろうか。

また、日ごろ用いる聖歌の歌詞、そして、中村主教は最近の説教のなかで、「私たち

私達は、現在、人間の内外にある大きな力を克服しようとして努力しています。しかし、この思いと行為が、人間の傲慢から出発しているとすれば、それは間違っています。

神戸国際大学理事長

日本聖公会 神戸教区報
神のおとずれ
2013年5月号
発行所 神戸教区事務所
TEL 078(351)5469
FAX 078(382)1095
http://www.nskk.org/kobe/
発行責任者 司祭 芳我 秀一
印刷所 文明堂印刷所

「東大をめざそう」。そして、もう一枚は女の子の写真で、「東大の先をよむ」とありました。二人の写真は、あまり健康そうな感じがせず、眼光だけがするどく見据えています。

九州・沖縄・神戸三教区合同 フィリピン・ワークキャンプ

司祭 ヨシユア 長田 吉史



皆様からの支援物資を届けることが出来ました。

これまで九州教区のプログラムとして、9年間フィリピンワークキャンプが開催されており、そのキャンプに、教区間協働の一つとして、2010年より神戸教区も参加してきました。

ところが、昨年夏の長崎平和礼拝の際に、当時の九州教区主教の五十嵐主教、委員長ベイカー博子姉(九州教区信徒)、そして中村主教の話し合いによって、2013年のフィリピンワークキャンプからは、九州・沖縄・神戸の三教区合同で行なうことになりました。その第一回目が、今年3月1日から11日までの10日間、開催されたキャンプです。

今回は、九州教区からは新主教の武藤主教と9名、沖縄教区から3名、神戸教区から5名が参加しました。その際、フィリピン聖公会の中央教区内の地域に支援物資を届けるにあたり、神戸教区の皆さまからは本当にたくさんのお物資を送っていただき、心より感謝申し上げます。おかげさまで、神戸教区からの参加者は、それぞれが預ける荷物と機内持ち込み用の手荷物、併せて10数キロずつを運ぶことができ、それでもまだ持てない荷物は、他教区の参加者に手伝ってもらいながら、フィリピン中央教区経由で、昨夏の大雨災害の被災地域の方々の支援物資として、また私たちがこの度お世話になったサンタインス村の子どもたちをはじめとした皆さんへのプレゼントとして、お届けすることができました。この場を借りて、厚く御礼申し上げます。ありがとうございます。

来年以降も、この三教区合同のプログラムは続きます。そのための協働委員会も4月初旬に行われました。しかし、この協働関係は、何も国外だけで行えばいいのではありません。

せん。日本国内においても、それぞれの教区の主要なプログラムにそれぞれが参加し、交わり、祈ることを通して、教区という枠組みを越えた、ひとつの「教会」の建設がこれからも求められているように思えてなりません。そのような「教会」の建設がいたるところで広がること、それも「宣教」と言えるのではないのでしょうか。今後、このフィリピンワークキャンプ、そして三教区の協働関係が神様の導きの内に行われますよう、お祈りに覚えてください。よろしくお願いいたします。

(真信愛教会牧師・
広島復活教会副牧師)

フィリピン・ワークキャンプ に参加して

テモテ 遠藤 洋介

私が、フィリピン・ワークキャンプに参加したのは、今回が初めてで、神学生として大きな一歩を踏み出そうとしていた頃に、長田司祭から今回のワークキャンプのお話をいただいたので、神学館に入る前の良い経験になると思い、参加申請をしました。

今年のワークは、私たちが滞在したサンタインス村の所有しているファームに「ティラピア」という魚の養殖をするための池を作りました。



養魚池作り。ハードワークでしたが遣り甲斐がありました。

テイ先のママもとても優しく、常に私の健康の事を気に掛けてくれました。

食事は、基本的にはサンタインス村の聖公会の教会の聖アグネス教会で、キャンパーと、村の教会関係の方々、そして村の子どもたちと一緒にいただきました。食事は、信者さんが奉仕で作ってください、大変美味しい食事を毎回提供してくださいました。

私が、今回のプログラムの中で一番印象に残っているのは、キャンプ八日目に武藤主教を迎えて行われた野外礼拝でした。全てが手作りのその場所、賛美歌を唱え、福音を聞き、村の方も一緒にお祈りをしました。その時に、教会は決して建物の名称ではなく、祈りの共同体のことなのだと思ふことができました。

本日はもっと書きたい事があるのですが、字数の関係上、この辺りで終わります。

今回参加させていただいて、本当に良かったと思っています。ここには書き切れないほど沢山の素晴らしい思い出や出会い、交わりがありました。またチャンスがあれば参加させていただきたいし、他の方にも是非、参加してもらいたいと思います。

(明石聖マリア・マグダレナ教会
信徒・4月より教区神学生)

神戸教区中高生大会準備会報告

大会長 ミカエラ 芳 我 直 美

今年の8月12日(月)～15日(木)に、岡山県青少年教育センター閑谷学校で行われる、神戸教区中高生大会50周年記念大会へ向けての準備会を、4月1～2日(月～火)に姫路顕栄教会で行いました。大勢の役員が参加して下さいました。とても感謝しております。

今年のテーマは「継承」祈り・信仰・伝統の継承」で、1日目は、テーマについて「なぜ教会に行くのか」「誰にお祈りをするのか」などを役員の方々が考えをふまえてディスカッションしました。深い意見や考え、ためになる話が沢山出て、大変嬉しく思っています。

2日目は、閑谷学校へ下見



準備会に集まり、熱心に協議する役員メンバー

に行きました。なんと、ここには国宝があり観光としても有名で、緑あふれる素敵な場所です。施設の方からも沢山の話を聞かして、様々な準備に励んでいます。とても充実した2日間になったと思っております。

今大会では、50周年記念礼拝と共に、講話ではカトリック多摩教会司祭の晴佐久昌英神父をお呼びしております。ご存じの方も多いいのではないのでしょうか？ 中学生でない方でも参加出来ますので、ぜひ聴きにきて頂けたら幸いです。また、中高生大会記念大会の大きいポスターを配布します。どうぞご覧になってみて下さい。

記念すべき年に中高生大会の本部を任せられることになり、とても感謝しております。大会準備に追われる毎日ですが、本部一同楽しく騒がしく過ごしております。これからも中高生大会を温かく見守って下さると嬉しいです。

沢山の御参加をお待ちしております。
(姫路顕栄教会信徒)

日本聖公会神戸教区
第50回中高生大会のご案内
日時：8月12日(月)～
8月15日(木)
場所：岡山県青少年教育センター閑谷学校
(岡山県備前市閑谷784番地)
テーマ：継承
～信仰・祈り・伝統の継承～
講師：晴佐久昌英神父
(カトリック多摩教会司祭)
(記念聖餐式)
司式者：中村 豊 教区主教
説教者：西川正文 司祭
参加費：9000円(保険料含む)

第50回中高生大会 記念行事のご案内

記念すべき第50回の大会開催にあたり、中高生大会にジョイントした、どなたでも参加できる、一泊二日の記念行事です。部分参加、またお子様連れの参加も可能です。どうぞふるってご参加ください。
日時：8月12日(月)～
8月13日(火)
主 催：神戸教区宣教部
*場所：講師とも中高生大会に同じです。
参加費：4000円(保険料含む)
申込締切：6月25日(火)
※中高生大会及び記念行事の

案内・申込書は各教会に配布されています。申込・お問い合わせは、長田吉史司 祭まで。
(長田司祭 住所・電話)
〒733-0833 広島市西区井口
鈴が台3丁目2-5 C301
電話 082-2781633

ウィリアムス神学館に入学して

教区神学生 テモテ 遠 藤 洋 介

日々のお祈りに感謝いたします。ウィリアムス神学館に入学して、二週間が過ぎ、少しずつ生活にも慣れ始めました。私は、明石聖マリア・マグダレン教会からの推薦で、今年の四月に、ウィリアムス神学館に入学した、テモテ遠藤洋介と言います。今の教籍は明石聖マリア・マグダレン教会ですが、生まれは鳥取県米子市で、洗礼は米子聖ニコラス教会、堅信は浜田キリスト教会で受けました。

二十歳の時から、兵庫県で暮らすようになり、毎主日の礼拝奉仕や青年会活動などが喜びになっていき、奉仕職を志願したいと思うようになりました。

ウィリアムス神学館の一日は、朝の礼拝から始まり、日中は講義を受けて、夕の礼拝をして、終わります。礼拝では、様々な教区や経験の違いから、人によってそれぞれ作の違いは多少ありますが、それもまた、良い経験になり、学びに繋がります。



前列中央が遠藤洋介教区神学生

講義の内容も、『神学』に変わりはないのですが、実に様々で、どれも難しく、今は、ついていくのに手一杯です。これから三年間、神学館で学んでいくのですが、努力に励み、一日一日を大切に、過ごしていこうと思います。これからもお祈りとご支援をよろしくお願いします。

着任の「挨拶」

立教英国学院チャブレン

司祭 ダビデ 林 和広

四月より立教英国学院での勤務が始まりました。

今年、新入生を加えて、157名の小学5年から高校3年生までの生徒が、学業と寮生活を営んでおります。教職員は、日本人と英人で構成され、生徒の学業面、生活面をケアしております。

学院の生活は、7時起床後、ラジオ体操、行進、朝食、朝の礼拝と続き、8時45分より授業開始です。毎朝礼拝が執行され、日曜日も学院で礼拝を捧げております。

授業に関しては「宗教」を担当し、クラブ活動はテニス部顧問として生徒に関わっております。

チャブレン邸は、学院から車で約15分離れたところにある、克蘭レーという所にあります。家族は、初めての海外での生活を通して、異なる習慣、文化を肌で感じながら生活しております。チャブレン邸近くに英国聖公会聖ニコラス教会があり、妻と子供達はこの教会の主日礼拝に参加しています。家族一同、言葉や文化、習慣に馴染んでいくためには時間を要しますが、様々な事柄を学ぶ機会としたと思います。

立教英国学院HPには学院

6月の教区関係教役者 逝去記念聖餐式

日時 2013年6月6日(木) 午前10:30
場所 神戸聖ミカエル大聖堂
司式 司祭 中村 豊
説教 司祭 原田 佳城

* 6月の記念逝去教役者*

8日	司祭	チャールズ F	ワレン
13日	司祭	ダニエル	植村 信久
13日	司祭	ヘンリー	ピート
13日	伝道師	マリア	鈴木 嵯峨
19日	伝道師	ヨハネ	伊木久次郎
19日	司祭	ダビデ	横田 豊
20日	司祭	トマス	角瀬 史和
20日	司祭		牧岡 鉄弥
20日	主教	テトス	中道 淑夫
22日	司祭	施洗者ヨハネ	佐々木 崇
23日	司祭	マタイ	覚前 信三
29日	主教		横田 道信

での活動や生活報告が日々、更新されております。どうぞご覧下さい。

(http://www.rikkyo.co.uk)

※ 林 和広司祭 住所

4 Cromwell Place,
Cranleigh, Surrey
GU6 7LF U.K

鳩だより

《敬称略》

祝 洗 礼

3月31日(日)

アンデレ 宇山 光義
ジョージ 日埜 勝正
ソフィア 日埜 昭子
神戸聖ミカエル教会

3月31日(日)

ドルカス 國弘 静子
神戸聖ペテロ教会

3月31日(日)

ルカ 野木聡太
神戸昇天教会

3月31日(日)

マリア 河本 かれん
米子聖ニコラス教会

3月31日(日)

マリア 萱野 実優
高松聖ヤコブ教会

祝 堅 信

3月31日(日)

アンデレ 宇山 光義
ジョージ 日埜 勝正
ソフィア 日埜 昭子
神戸聖ミカエル教会

教 籍 異 動

3月11日(月)

サムエル 酒谷 薫
エレナ 酒谷 順子
神戸昇天教会より
東北教区郡山聖ペテロ聖パウロ教会に送籍

「」 逝 去

3月2日(土)

プリスカ 基 隆子(90歳)
神戸聖ミカエル教会

3月2日(土)

エステル 高田 泰子(86歳)
大洲聖公会

3月13日(水)

ルシア 間壁 正子(87歳)
岡山聖オーガスチン教会

3月14日(木)

テレサ 新藤美知子(85歳)
高松聖ヤコブ教会

3月18日(月)

ミリアム 広瀬 島子(91歳)
岡山聖オーガスチン教会

3月24日(日)

テモテ 山本 徳男(89歳)
徳山聖マリア教会

神戸伝道区

◎ 4月13日(土) 午前10時30分

から、クリスチャン・センター神戸バイブル・ハウスにて、同センターの10周年記念式典が行われた。同センターは、2001年に神戸市周辺の超教派の教会が主体となって、

6月2日(日・特定6) 地球環境のために祈る日

天地万物を造られた主は、それをご覧になって「よし」とされました。しかし、人間によって様々な自然破壊が起こっています。自然環境を守り、保全するために祈りましょう。



そごう百貨店にて聖書展を開催したが、その時の協力関係を維持・発展させて行く努力の中で設立されたものです。人々に広く聖書を知って頂くための、様々な企画が実施され、宣教の働きも担っています。式典では、同センター設立の時から、色々と尽力されてきた、古本純一郎主教が開会祈祷をされました(写真)。